

道場内での危険防止の為の遵守事項  
(文京スポーツセンター弓道場)

1. 矢取り

- 1) 矢取りに控える時は射位より手前で待つ
- 2) 手を2回大きく叩く
- 3) 「お願いします」の返事をするのは射場の状況を確認してから
- 4) 「お願いします」の返事を受けてから矢取りに向かう
- 5) 塚に人がいる時には取り懸けてはいけない
- 6) 射場内に戻る時、落的が打起したらシャッターの陰で待つ
- 7) 普段の立ち稽古の場合でも2回手を叩く(月例会では不要)

2. 巻藁稽古

- 1) 巻藁と射手の間を通らない
- 2) 巻藁の左側(器具庫前)に座らない
- 3) 巻藁に向かい射手が会の時には妻手側を通らずに待つ、離れの後で通る

3. 射位

- 1) 前後が会の時には射位に入らない

以上